

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第 1 1 4 回)

2 0 2 5 年 4 月 ~ 6 月 期 実 績

2 0 2 5 年 7 月 ~ 9 月 期 見 通 し

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町 3 - 6

TEL 0 2 7 6 (4 5) 2 1 2 1

FAX 0 2 7 6 (4 5) 1 0 8 8

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項・・・・・・・・・・・・・・・・	1
調査目的や対象企業（業種）、回答率など	
（１）設問に対する業種別回答・・・・・・・・	2
9つの質問に対する業種別による回答状況	
（２）業種別D I 値について・・・・・・・・	5
6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント	
（３）全体D I 値について・・・・・・・・	9
全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移	
（４）【参考】現在直面している経営課題の指摘率・・	10
8つの選択肢に対する回答状況（3つまで選択可）	
（５）比較資料編・・・・・・・・	11
同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較 （中小企業基盤整備機構、日本商工会議所L O B O調査、日銀短観）	

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 2025年6月
- ② 調査対象期間 今期（2025年4月～6月期）に対する前期（2025年1月～3月期）及び前年同期（2024年4月～6月期）との比較実績、並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて按分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率
全 体	270	→	222	82.2 (%)
輸送機器	40	→	33	82.5 (%)
その他製造	40	→	34	85.0 (%)
建設業	50	→	42	84.0 (%)
卸売業	30	→	26	86.7 (%)
小売業	40	→	30	75.0 (%)
サービス業	70	→	57	81.4 (%)

5. D I 値について

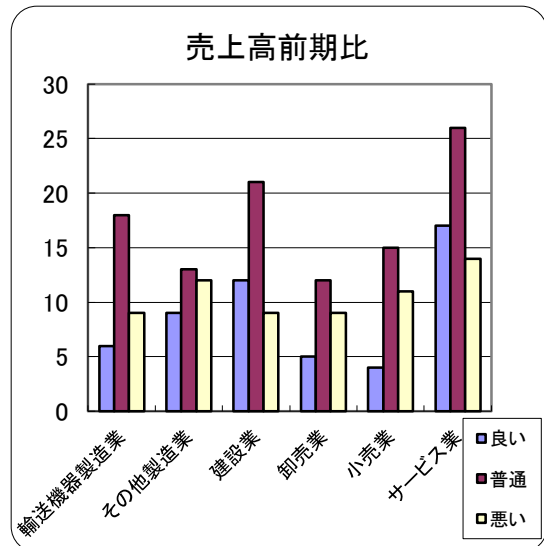
D I とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い（増加）と答えた企業の割合から、悪い（減少）と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

（例：ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、D I 値は▲10.0となる。）

(1)設問に対する業種別回答

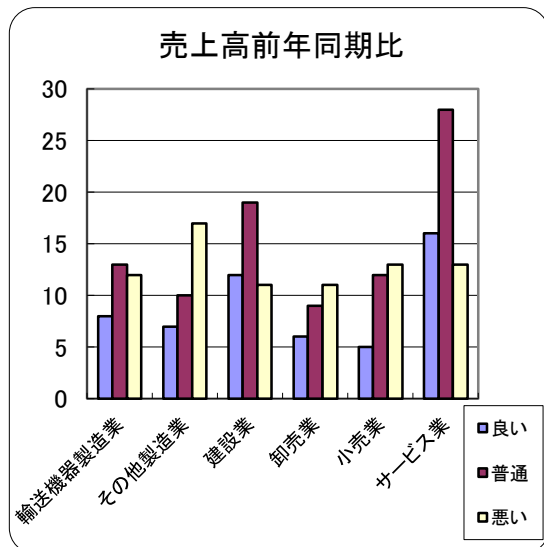
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	6	18	9	33	▲ 9.1
その他製造業	9	13	12	34	▲ 8.8
建設業	12	21	9	42	7.1
卸売業	5	12	9	26	▲ 15.4
小売業	4	15	11	30	▲ 23.3
サービス業	17	26	14	57	5.3
合計	53	105	64	222	▲ 5.0



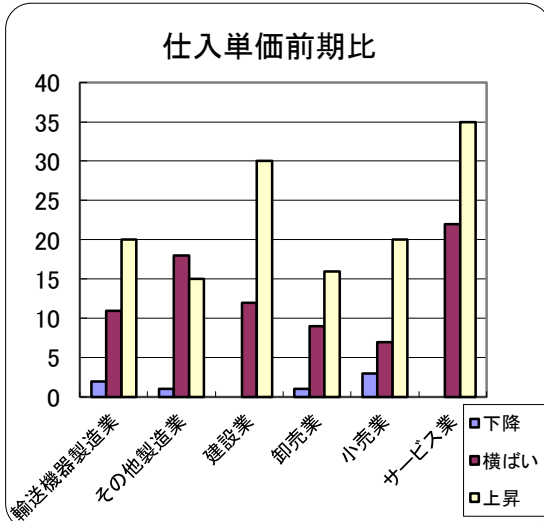
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	8	13	12	33	▲ 12.1
その他製造業	7	10	17	34	▲ 29.4
建設業	12	19	11	42	2.4
卸売業	6	9	11	26	▲ 19.2
小売業	5	12	13	30	▲ 26.7
サービス業	16	28	13	57	5.3
合計	54	91	77	222	▲ 10.4



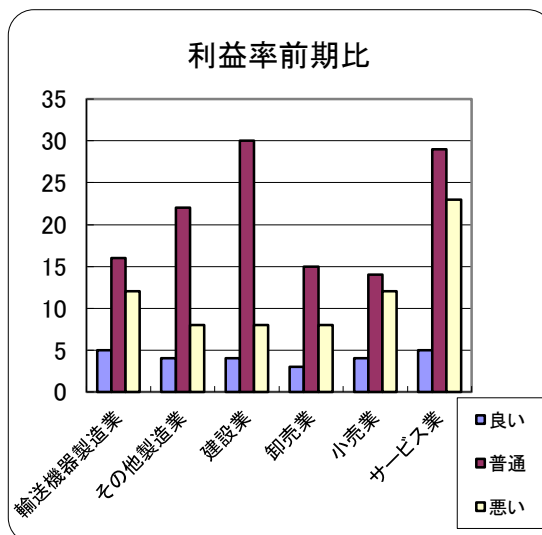
仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	2	11	20	33	▲ 54.6
その他製造業	1	18	15	34	▲ 41.2
建設業	0	12	30	42	▲ 71.4
卸売業	1	9	16	26	▲ 57.7
小売業	3	7	20	30	▲ 56.7
サービス業	0	22	35	57	▲ 61.4
合計	7	79	136	222	▲ 58.1



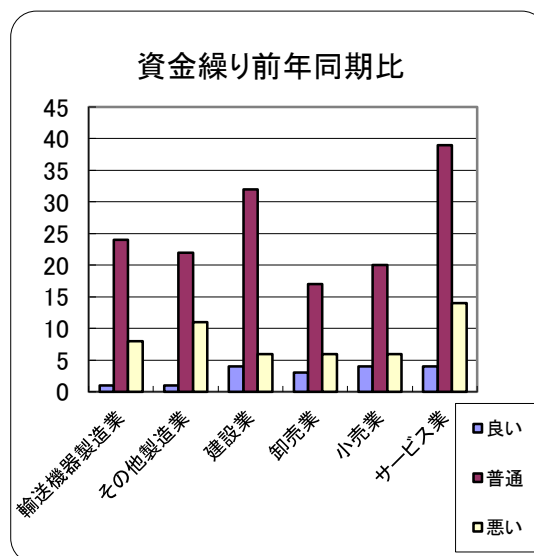
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	16	12	33	▲ 21.2
その他製造業	4	22	8	34	▲ 11.8
建設業	4	30	8	42	▲ 9.5
卸売業	3	15	8	26	▲ 19.2
小売業	4	14	12	30	▲ 26.7
サービス業	5	29	23	57	▲ 31.6
合計	25	126	71	222	▲ 20.7



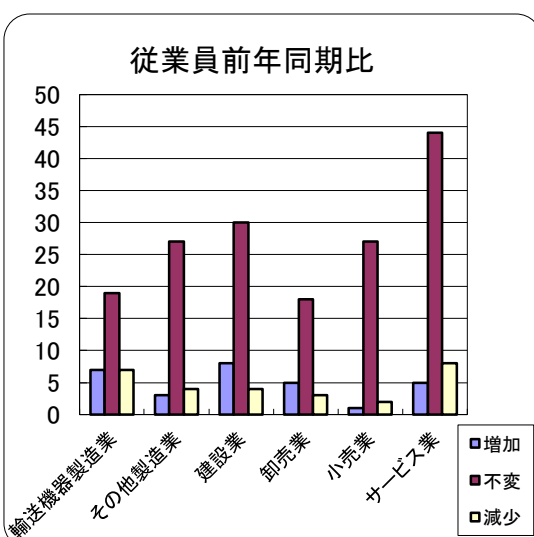
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	1	24	8	33	▲ 21.2
その他製造業	1	22	11	34	▲ 29.4
建設業	4	32	6	42	▲ 4.8
卸売業	3	17	6	26	▲ 11.5
小売業	4	20	6	30	▲ 6.7
サービス業	4	39	14	57	▲ 17.5
合計	17	154	51	222	▲ 15.3



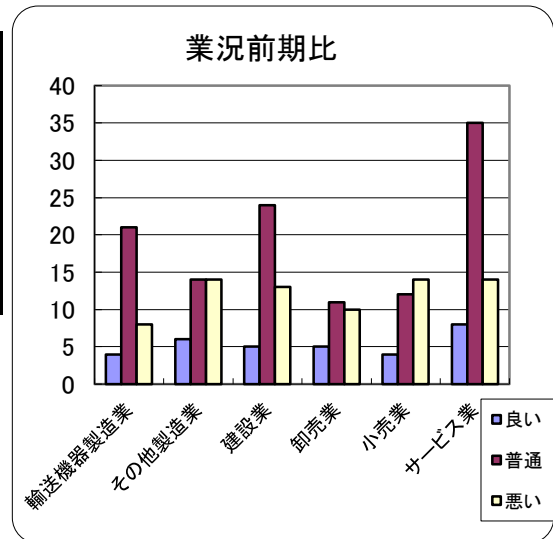
従業員前年同期比

	増加	不変	減少	合計	DI値
輸送機器製造業	7	19	7	33	0.0
その他製造業	3	27	4	34	▲ 2.9
建設業	8	30	4	42	9.5
卸売業	5	18	3	26	7.7
小売業	1	27	2	30	▲ 3.3
サービス業	5	44	8	57	▲ 5.3
合計	29	165	28	222	0.5



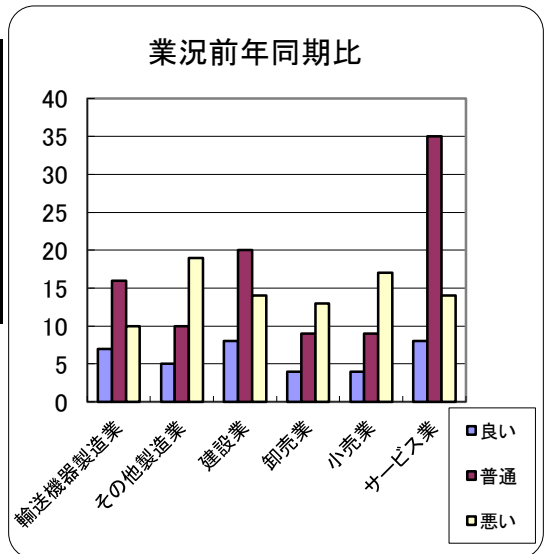
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	4	21	8	33	▲ 12.1
その他製造業	6	14	14	34	▲ 23.5
建設業	5	24	13	42	▲ 19.1
卸売業	5	11	10	26	▲ 19.2
小売業	4	12	14	30	▲ 33.3
サービス業	8	35	14	57	▲ 10.5
合計	32	117	73	222	▲ 18.5



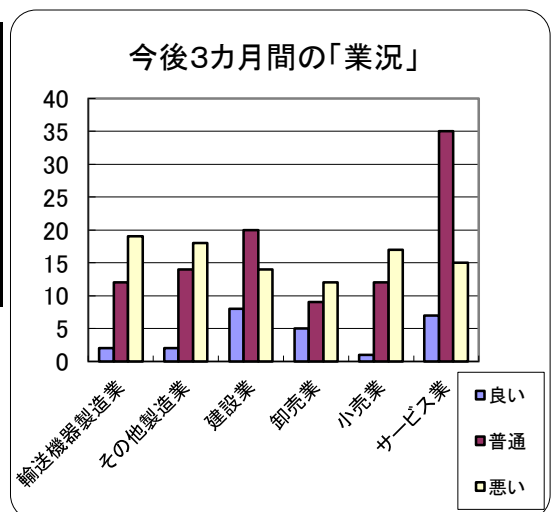
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	7	16	10	33	▲ 9.1
その他製造業	5	10	19	34	▲ 41.2
建設業	8	20	14	42	▲ 14.3
卸売業	4	9	13	26	▲ 34.6
小売業	4	9	17	30	▲ 43.3
サービス業	8	35	14	57	▲ 10.5
合計	36	99	87	222	▲ 23.0



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	2	12	19	33	▲ 51.5
その他製造業	2	14	18	34	▲ 47.1
建設業	8	20	14	42	▲ 14.3
卸売業	5	9	12	26	▲ 26.9
小売業	1	12	17	30	▲ 53.3
サービス業	7	35	15	57	▲ 14.0
合計	25	102	95	222	▲ 31.5



(2)業種別DI値について

輸送機器	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 61.3	▲ 9.1	52.2
売上高前年同期比	▲ 9.7	▲ 12.1	▲ 2.4
仕入単価前期比	▲ 54.8	▲ 54.6	0.2
利益率前期比	▲ 38.7	▲ 21.2	17.5
資金繰り前年同期比	▲ 19.4	▲ 21.2	▲ 1.8
従業員前年同期比	9.7	0.0	▲ 9.7
業況前期比	▲ 54.8	▲ 12.1	42.7
業況前年同期比	▲ 16.1	▲ 9.1	7.0
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 35.5	▲ 51.5	▲ 16.0

[企業コメントより]

- ・主顧客の減産が予定されている。収益確保のための生産性向上、合理化が必要である【車体部品製造】
- ・人材を集めるのが大変です(新卒を含めて)【自動車外装パーツ】
- ・米国関税の課題及びEV販売不振の状況より、カーメーカーの今後の方向性に不透明感が増している状況下、自社としても方向性が決定できず、なんとか踏みとどまっている状況である【車体部品製造】
- ・地元メーカーの仕事が多いのですが、昨年の中にR7年は同社からの仕事はあまり無いと言われていた。実際、1月～6月までに金型1型しか受注できていない。【自動車用金型】
- ・協力会社の高齢化、生産能力の低下により仕事の流れが悪い。これから先もっと仕事が少なくなるので、対策しなければならない【金属加工】
- ・取引先からの受注量が減少している(25年1～3月と同じ)。ガスやワイヤ類が5月から値上げにて経営を圧迫している。また人材不足(求人が来ない)にて人材確保をせざるを得ず、人件費による経営圧迫も多少出ている【パイプ加工】
- ・カーメーカー様の稼働率低下分を他で補う為の活動(を行う)【内装フレーム製品】

その他製造業	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 25.0	▲ 8.8	16.2
売上高前年同期比	▲ 9.4	▲ 29.4	▲ 20.0
仕入単価前期比	▲ 59.4	▲ 41.2	18.2
利益率前期比	▲ 31.3	▲ 11.8	19.5
資金繰り前年同期比	▲ 18.8	▲ 29.4	▲ 10.6
従業員前年同期比	0.0	▲ 2.9	▲ 2.9
業況前期比	▲ 25.0	▲ 23.5	1.5
業況前年同期比	▲ 25.0	▲ 41.2	▲ 16.2
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 34.4	▲ 47.1	▲ 12.7

[企業コメントより]

- ・温暖化のため、冬物衣料が売上低調です。また原材料の価格が日増しに上昇しています。その分を価格に転嫁できてはいるが、受注(減)に直結してしまうのではないかと心配している【ニット製品】
- ・生産効率の向上(が課題)【板金プレス加工】

- ・原材料高には、その分を可能な限り受注金額に転嫁するようにしている。
- ・人件費・経費増には、経営者の給与を低くして対応、またVA活動などで削減を試みている。
- ・求人は若手担当者による求人メディア活用など対策を行っている。また社内体制近代化も行っている【以上産業機械製造】

・製品の市場ニーズや依頼はあるものの、人材不足、残業規制等による生産能力不足により受注できない状況が続いています。人材に対するコスト負担(社会保険や昇給、募集)は年々増加しています。売上は上げられず、コストばかり増加し、中小企業の厳しい現状を目の当たりにしています【食品製造】

・求人が思うように進まないため、生産能力が上がらず、募集のための人件費も上昇して、悪循環となっています【食品製造】

・5月連休あたりから問い合わせが少ない。他の協力会社さんも同じことを言っている。話があってもキャンセルになったり、取引会社さんが廃業したり、また廃業を考えているなど良い話がないので先行きが不透明。すぐ実らなくても営業活動をしていくしかないと思う【プラスチック製品加工】

・求人戦略の再構築が必要、省人化(ロボット化)の推進(も不可避)【板金加工】

・トランプ関税による影響でコストダウン等が要請される可能性が出てきた【木製パレット製造】

建設業	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	14.6	7.1	▲ 7.5
売上高前年同期比	9.8	2.4	▲ 7.4
仕入単価前期比	▲ 80.5	▲ 71.4	9.1
利益率前期比	▲ 14.6	▲ 9.5	5.1
資金繰り前年同期比	▲ 2.4	▲ 4.8	▲ 2.4
従業員前年同期比	7.3	9.5	2.2
業況前期比	▲ 7.3	▲ 19.1	▲ 11.8
業況前年同期比	0.0	▲ 14.3	▲ 14.3
今後3ヶ月間の業況見通し	2.4	▲ 14.3	▲ 16.7

[企業コメントより]

・工事量が少ない【土木工事】

・多少賃上げしたものの あまり効果を感じない【総合建設業】

・季節需要で売上は好調ですが、人手不足と後継者不足、社員の高齢化(社長本人も含む)が深刻です。人手不足により仕事を辞退するケースも多く、今後の事業継続に不安が有ります【建設付帯工事】

・材料費が上がっても請求金額の単価をなかなか上げてもらえない【外構工事】

・受注率が年々低下していて、なおかつ高温により作業性が悪い。かなり魅力の無い業界になっている感じがする【建設付帯工事】

卸売業	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 52.2	▲ 15.4	36.8
売上高前年同期比	▲ 30.4	▲ 19.2	11.2
仕入単価前期比	▲ 91.3	▲ 57.7	33.6
利益率前期比	▲ 26.1	▲ 19.2	6.9
資金繰り前年同期比	▲ 21.7	▲ 11.5	10.2
従業員前年同期比	0.0	7.7	7.7
業況前期比	▲ 30.4	▲ 19.2	11.2
業況前年同期比	▲ 39.1	▲ 34.6	4.5
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 8.7	▲ 26.9	▲ 18.2

[企業コメントより]

- ・前期と比較すると、引合いは出て来ているが、価格が厳しくなかなか受注に結びつかない。見積り後の値引き交渉が増えて来ており、メーカーの協力が得られない中、どこまで身を削れるかの判断に苦悩中。
【電気設備卸】
- ・物価状況に伴う価格高騰や、酒類・食品・飲料水等々のメーカー価格改定などで消費が減少している。特に酒類全般で取引先の廃業、倒産も目立つ。掛かる経費等を考えて効率化を図っているのが現状。人材確保も問題視【飲料卸】
- ・事業承継問題(が深刻)【事務機器卸】
- ・従来のプラスチックリサイクル事業は、中国の経済不況をはじめとする需要減のため売上が減少している。しかし、廃車から取り出しているマフラーから出る触媒や、プラグから抽出されるレアアースに関する新規ビジネスに着手している【プラスチックリサイクル】
- ・全ての状況が悪い。良いと思われる話もあるにはあるが、ライバルが多すぎる。どこも同じ状態だと思うが、あまりにも競争が激しい。我慢しかない【機械工具卸】
- ・取引先を開拓するために社員個々の知識・スキルアップを行う。そのために外部講師やセミナーへの積極的参加を行っている【金型部品卸】
- ・客数が増加していますが、客単価が下がってしまい(売上は)減少してしまいました。経費の削減につとめ努力して行きます【家具調度品卸】

小売業	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 17.2	▲ 23.3	▲ 6.1
売上高前年同期比	▲ 6.9	▲ 26.7	▲ 19.8
仕入単価前期比	▲ 82.8	▲ 56.7	26.1
利益率前期比	▲ 44.8	▲ 26.7	18.1
資金繰り前年同期比	▲ 27.6	▲ 6.7	20.9
従業員前年同期比	▲ 13.8	▲ 3.3	10.5
業況前期比	▲ 37.9	▲ 33.3	4.6
業況前年同期比	▲ 27.6	▲ 43.3	▲ 15.7
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 24.1	▲ 53.3	▲ 29.2

[企業コメントより]

- ・商店街まで買い物に来てくれない。人も自動車も(来ない)。顧客に必要とされる商品が無いためか、客数が少ない。【手芸品小売】
- ・物価高騰の影響で商品価格が上昇し、購買機会の減少を感じ商品の割引販売が続いている。差別化した商品・サービスが必要であるのと、過剰在庫を減らす努力を行っている【钣金設計・用品販売】
- ・原材料高、その他経費増を製品の小売の値段に反映させて値上げすることに限界を感じている【菓子製造小売】
- ・固定費(ガソリン代、電気代他)の上昇(が厳しい)【飲料販売】
- ・利益の出る商品を仕入したいが、(そういう商品は)他社でも販売している為、無理である。(仕入れるにも)ロットの数が大きすぎて、賞味期限を考えると仕入できない【飲料販売】
- ・販売単価を上げたので売上は増加したが、それ以上に仕入(価格)が上昇した。もち米の仕入単価が今後かなり高くなりそうなので、苦慮している【食品製造小売】
- ・備蓄米放出が進んでいる。当初の販売進度が狂い、ただただ様子を見るしかない状況である【米穀販売】
- ・取り扱いブランドメーカーの新製品開発などで変化が期待できる。しかし取引条件が厳しく、単純にプラスとはいえない【化粧品小売】

- ・コロナ融資の返済財源が確保できない。売上減少に歯止めが効かない状況が続いている【生花店】
- ・他業種と同様に原材料・人件費高、競争があり正直きつい。特にアマゾンサイトの価格競争が激化してきている【嗜好品販売】

サービス業	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	6.3	5.3	▲ 1.0
売上高前年同期比	4.2	5.3	1.1
仕入単価前期比	▲ 62.5	▲ 61.4	1.1
利益率前期比	▲ 41.7	▲ 31.6	10.1
資金繰り前年同期比	▲ 16.7	▲ 17.5	▲ 0.8
従業員前年同期比	▲ 6.3	▲ 5.3	1.0
業況前期比	▲ 6.3	▲ 10.5	▲ 4.2
業況前年同期比	0.0	▲ 10.5	▲ 10.5
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 8.3	▲ 14.0	▲ 5.7

[企業コメントより]

- ・燃料高、修理代高(が厳しい)【運輸】
- ・毎月のように仕入先から値上げの知らせが届くが、その度にメニューの値上げを出来るわけもなく利益率が下がっている【レストラン】
- ・テレビ等の取材もあり良くなる見通し。長年の広告や宣伝で普通に保てる【食品製造販売】
- ・原材料の高騰により、資金繰りが悪く、とても大変な日々(が続く)【食品製造販売】
- ・今期(4～6月)は、パーティ施行数は減少しており、昨年実績を下回っています。基本に戻り丁寧な施行と美味しい料理、喜ばれるサービスを志します【ケータリング】
- ・製造業の生産低下が2024年秋以降から収まらず、生産が少ない分、工場からの発生スクラップも極端に少ない。理由は分からず、それに加えて米国トランプ関税が加わり、より一層生産量が低下すれば、経営の現状維持は難しくなってきたそうである【資源リサイクル】
- ・物価高騰(の影響が大きい)【理容所】
- ・原材料費が上がっている(米、海苔、かんぴょう)、その辺が厳しいです！【食品製造販売】
- ・店の特性上、お米をはじめとする食材が非常に高くなっている。1割2割増ならわかるのですが、倍になったり2.5倍になるのは異常な気がします【飲食業】
- ・最低賃金の上昇を賄うための値上げに難航している。
- ・専門技術を持っている人材の採用をする。
- ・DXを使用した社員の管理(業務の効率化を図る)【以上ビルメンテナンス】
- ・若い方向けのサービス業のため、宣伝はSNSなども気を抜かず利用し、時代の流れの中で求められているものを提供提案できるよう展示会などもまめに行くようにしてます【衣装レンタル】

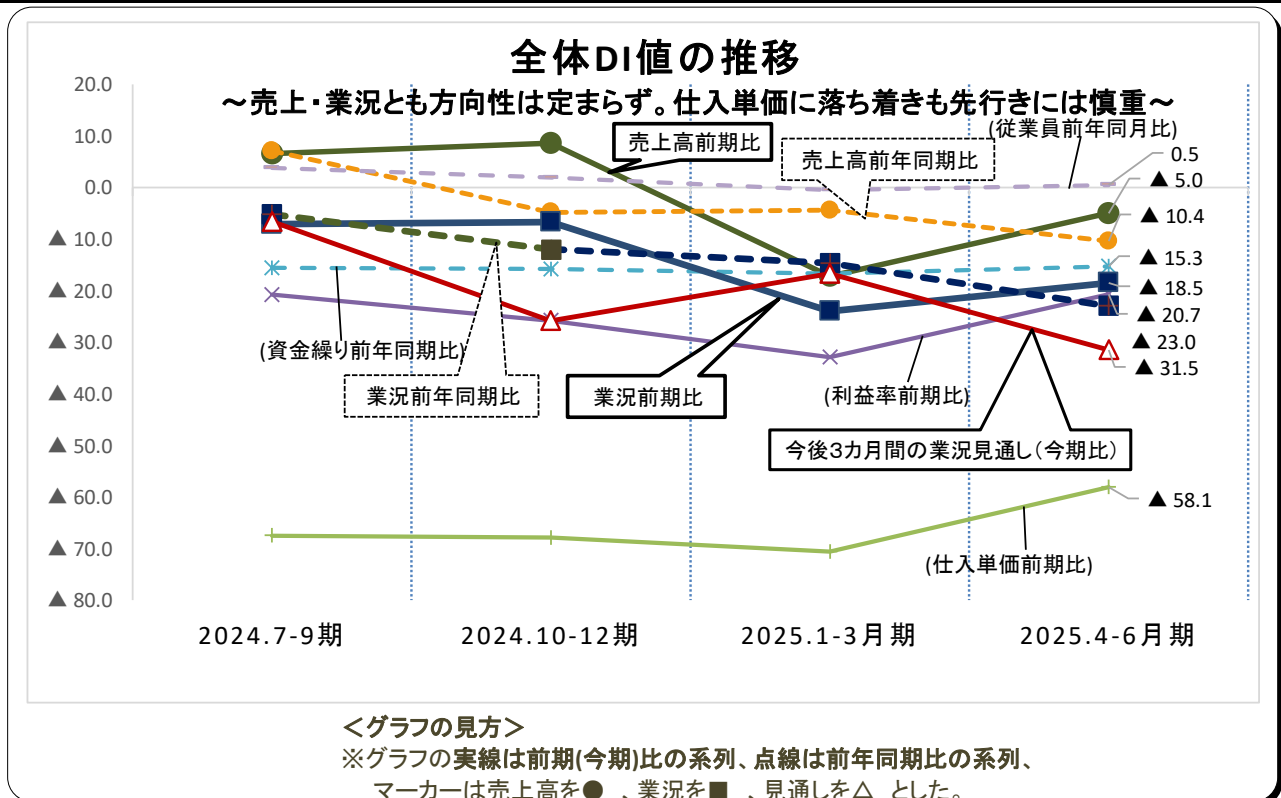
(3) 全体DI値について

全 体 D I 値	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 17.2	▲ 5.0	12.2
売上高前年同期比	▲ 4.4	▲ 10.4	▲ 6.0
仕入単価前期比	▲ 70.6	▲ 58.1	12.5
利益率前期比	▲ 32.9	▲ 20.7	12.2
資金繰り前年同期比	▲ 16.7	▲ 15.3	1.4
従業員前年同期比	▲ 0.5	0.5	1.0
業況前期比	▲ 24.0	▲ 18.5	5.5
業況前年同期比	▲ 14.7	▲ 23.0	▲ 8.3
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 16.7	▲ 31.5	▲ 14.8

<動向について>

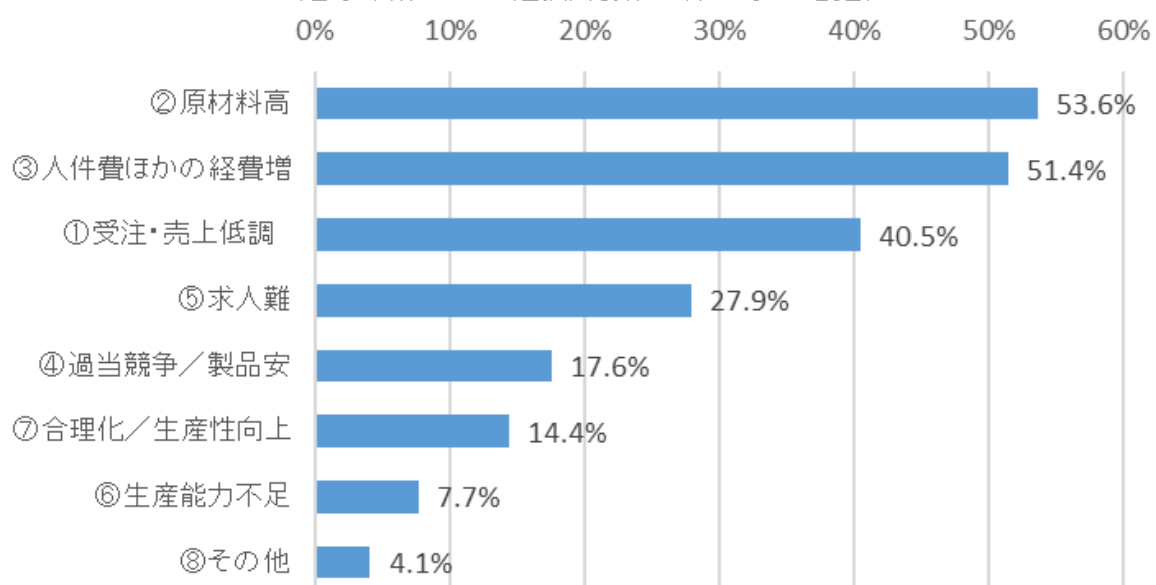
- ・今期の売上高DI・業況DIはともに、前期比系列が1～3月期の大幅悪化による反動で上昇した一方で、前年同期比系列はいずれも下降するなど方向性は明確でない。
- ・物価上昇は続くが鈍化もみられ、仕入単価前期比DIは卸・小売業をはじめ全ての業種で改善した。これにより利益率前期比DIも全業種ベースで12.2ポイント上昇した。
- ・反対に今後3か月間の業況見通しDIは悪化を見込んでおり、全業種ベースで今期比14.8ポイントの悪化となった。今後は日米関税交渉決着の影響を注視したい。

全 体 D I 値 の 推 移	2024.7-9期	2024.10-12期	2025.1-3月期	2025.4-6月期
売上高前期比	6.6	8.6	▲ 17.2	▲ 5.0
売上高前年同期比	7.1	▲ 4.8	▲ 4.4	▲ 10.4
仕入単価前期比	▲ 67.5	▲ 67.9	▲ 70.6	▲ 58.1
利益率前期比	▲ 20.8	▲ 25.8	▲ 32.9	▲ 20.7
資金繰り前年同期比	▲ 15.6	▲ 15.8	▲ 16.7	▲ 15.3
従業員前年同期比	3.8	1.9	▲ 0.5	0.5
業況前期比	▲ 7.1	▲ 6.7	▲ 24.0	▲ 18.5
業況前年同期比	▲ 5.2	▲ 12.0	▲ 14.7	▲ 23.0
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 6.6	▲ 25.8	▲ 16.7	▲ 31.5



(4)【参考】現在直面している経営課題の指摘率

(各事業所3つまで選択、総数222件に対する割合)



(5)比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、1～3月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 9.0	▲ 9.2	－	－
建設業	7.1	▲ 9.9	－	－
卸売業	▲ 15.4	▲ 5.6	－	－
小売業	▲ 23.3	▲ 16.5	－	－
サービス業	5.3	▲ 0.9	－	－
全 体	▲ 5.0	▲ 8.1	－	－

(売上高・前年同期比)

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 20.9	－	▲ 6.8	0.5
建設業	2.4	－	▲ 8.9	▲ 0.3
卸売業	▲ 19.2	－	▲ 9.8	
小売業	▲ 26.7	－	▲ 6.9	
サービス業	5.3	－	8.1	
全 体	▲ 10.4	－	▲ 3.6	▲ 0.1

(↑ 非製造業という括り)

③仕入単価前期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 47.8	－	▲ 60.9	－
建設業	▲ 71.4	－	▲ 70.5	－
卸売業	▲ 57.7	－	▲ 61.1	－
小売業	▲ 56.7	－	▲ 66.9	－
サービス業	▲ 61.4	－	▲ 67.0	－
全 体	▲ 58.1	－	▲ 65.3	－

(仕入単価・前年同期比)

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 16.4	▲ 21.2	▲ 20.4	▲ 8.0
建設業	▲ 9.5	▲ 18.7	▲ 15.8	▲ 10.7
卸売業	▲ 19.2	▲ 13.5	▲ 19.0	
小売業	▲ 26.7	▲ 29.8	▲ 19.7	
サービス業	▲ 31.6	▲ 19.5	▲ 12.1	
全 体	▲ 20.7	▲ 21.9	▲ 17.2	▲ 10.0

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 25.4	▲ 14.3	▲ 15.6	8.0
建設業	▲ 4.8	▲ 4.6	▲ 4.9	13.0
卸売業	▲ 11.5	▲ 8.8	▲ 9.9	
小売業	▲ 6.7	▲ 19.5	▲ 14.6	
サービス業	▲ 17.5	▲ 9.8	▲ 8.7	
全 体	▲ 15.3	▲ 12.5	▲ 11.1	11.0

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 1.5	▲ 3.6	—	—
建設業	9.5	▲ 1.9	—	—
卸売業	7.7	▲ 1.0	—	—
小売業	▲ 3.3	▲ 4.4	—	—
サービス業	▲ 5.3	▲ 1.7	—	—
全 体	0.5	▲ 2.9	—	—

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 17.9	▲ 17.9	—	1.0
建設業	▲ 19.1	▲ 8.5	—	17.0
卸売業	▲ 19.2	▲ 13.8	—	5.0
小売業	▲ 33.3	▲ 26.8	—	10.0
サービス業	▲ 10.5	▲ 11.1	—	15.0
全 体	▲ 18.5	▲ 16.3	—	10.0

（業況・前年同期比）

（サービス業は宿泊・飲食の数字）

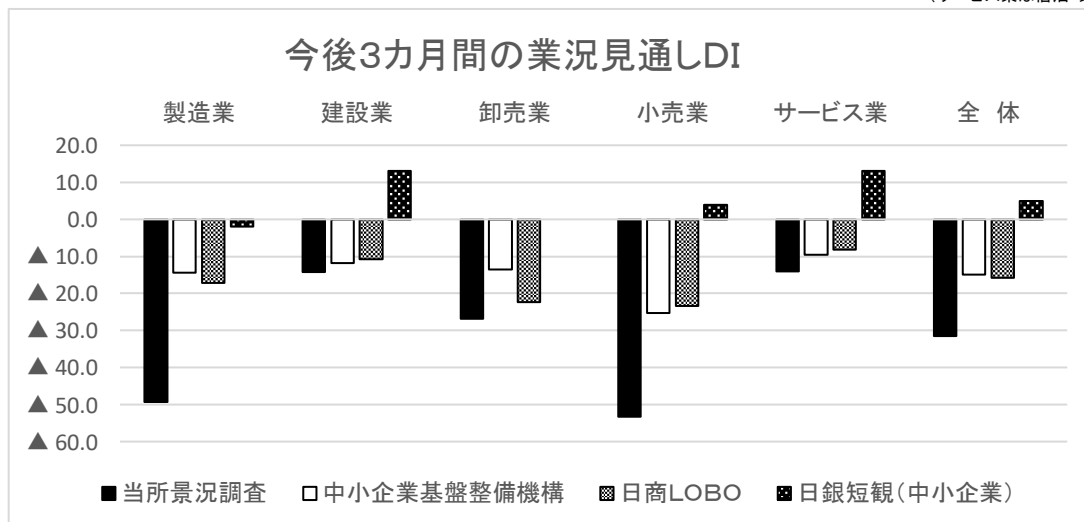
⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 25.4	—	▲ 21.3	—
建設業	▲ 14.3	—	▲ 15.6	—
卸売業	▲ 34.6	—	▲ 23.4	—
小売業	▲ 43.3	—	▲ 23.7	—
サービス業	▲ 10.5	—	▲ 8.5	—
全 体	▲ 23.0	—	▲ 17.8	—

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 49.3	▲ 14.4	▲ 17.2	▲ 2.0
建設業	▲ 14.3	▲ 11.8	▲ 10.8	13.0
卸売業	▲ 26.9	▲ 13.6	▲ 22.3	0.0
小売業	▲ 53.3	▲ 25.3	▲ 23.4	4.0
サービス業	▲ 14.0	▲ 9.5	▲ 8.1	13.0
全 体	▲ 31.5	▲ 15.0	▲ 15.7	5.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2025年（令和7年）9月10日 発行